システム情報工学特論

真野智之 (Tomoyuki Mano)

Okinawa Institute of Science and Technology

2021/06/23

AWS Educate のアカウントの用意 (1)

講義では実際に AWS のクラウドにアプリケーションを展開します. それには AWS Educate により提供されている学習用アカウントを使用します.本講義は AWS Educate プログラムに参加しているので, 各アカウントには100ドル分のクーポン(利用枠)がついています. 次からのスライドで示す手順でアカウントを取得します.

AWS Educate のアカウントの用意 (2)

- アカウントの招待が gcc のメールアドレスに送られてきます。件名は "Your AWS Educate Application", 差出人は "support@awseducate.com" のはずです。
- 招待のリンクに従ってアカウントを作ります.アカウントの承認 に少し待たされます.
- アカウントが発行されたら、 AWS Educate にログインしてくだ さい。



Figure: AWS Educate ログイン画面

AWS Educate のアカウントの用意 (3)

- AWS Educate のログイン画面のトップメニューバーから AWS Account を開きます
- Create Starter Account をクリックします
- 少し待つと Starter Account が作成されます



Figure: AWS Educate Starter Account の作成

AWS Educate のアカウントの用意 (4)

- AWS AWS Educate Starter Account と書いてあるオレンジ色のボタンをクリックします
- vocareum (Starter account を提供しているサードパーティ会社) のサイトに飛び、利用規約が表示されます。熟読の上、 I Agree を押します。
- vocareum のコンソール画面が開きます.



Figure: vocareum のコンソール画面

AWS Educate のアカウントの用意 (5)

- vocareum のコンソール画面から AWS Console と書かれたボタンを押します。
- AWS コンソールが開きます
- このようにして得られた AWS アカウントを使って講義のハンズ オンを実施してください。

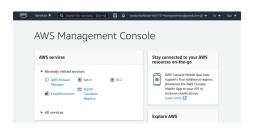


Figure: AWS コンソール画面

AWS Educate のシークレットキーの設定 (1)

ここまでで AWS Educate Starter Account の取得が完了した.

次にシークレットキーと呼ばれるものの設定を行う. シークレットキーは, AWS CLI/CDK を使って AWS の API を操作する際の認証情報を担う.

Starter Account で作られたアカウントはシークレットキーの設定方法が一般アカウントと若干異なる.

次からのスライドで示す手順でシークレットキーを設定する.

講義資料 (15章 Appendix) にも同様の説明が記載されている.

AWS Educate のシークレットキーの設定 (2)

- AWS Educate のコンソール画面から、vocareum のコンソールに 移動する
- Account Details をクリックし、続いて AWS CLI: Show をクリック する
- aws_access_key_id, aws_secret_access_key, aws_session_token が表示される.ここで表示された内容を ~/.aws/credentials にコピーする

```
AMS Access
Session started at: 2021-00-20718129:00-0700
Session to end at: 2021-00-20718129:00-0700
Session to end at: 2021-00-2072129:00-0700
Remaining session time: 7150922

AMS Starter account
Term: 30-6 days 23:13:23

MAS CLI:
Copy and paste the following into -/.mas/credentials

[default]
me.Sccoss.lwy_down
me.
```

Figure: vocareum から AWS シークレットキーの発行

AWS Educate のシークレットキーの設定 (3)

続いて、~/.aws/config というファイルを用意し、次の内容を書き込む. 現時点では AWS Starter Account は us-east-1 リージョンでしか利用できないためである.

```
[profile default]
region = ap-northeast-1
output = json
```